

もっとつながる明日へ  
— Total Communication —



2007  
May, 24

■ **Investor's Guide**

# 目次

目次	.....	1	4.-① 財務指標	.....	10
当連結会計年度の経営成績の概況等	.....	2	4.-② 財務指標	.....	11
1.-① 経営成績	.....	6	5.-① 貸借対照表 連結	.....	12
1.-② 経営成績	.....	7	5.-② 貸借対照表 単体	.....	13
2. セグメント情報	.....	8	6.-① 損益計算書 連結	.....	14
3. 設備投資 及び CF状況	.....	9	6.-② 損益計算書 単体	.....	15

# 《当連結会計年度の経営成績》

---

# 【 CATV 】

---

---

## ●事業環境

CATV業界におきましては、アナログ放送終了が平成23年7月に迫るなか、放送事業については地上デジタル放送の配信が開始され、高付加価値なオプションサービスから標準サービスとして普及することが見込まれる一方で、通信事業者による光ファイバー等を利用した多チャンネル放送の配信サービスも提供されております。また、通信についてはFTTHとの競合が激化しております。

今後、通信・放送のIP方式によるサービス提供など現在検討されているものが実現した場合、競合の激化・価格の低減など事業環境に大きく影響を与えるものと予想しております。

## ●当期の事業概況

放送事業は、デジタル多チャンネルサービスについて新プランの販売開始、さらにはCSハイビジョン番組を導入するなど、サービスプランを充実させるとともに、新規及びデジタル多チャンネルサービスについて積極的に加入者の獲得に取り組んでまいりました。

それにより、平成19年3月末における放送サービスの加入者登録件数は300千件(そのうちデジタル多チャンネルサービス加入者登録件数61千件、全体の20%)となり、当連結会計年度におきまして16千件増加いたしました。

通信サービス事業は、平成18年9月よりCATV網を利用したFTTHサービス・光プライマリー電話サービスを開始いたしました。自社のネットワークを活用したことで、競合他社と比べましても十分な魅力をもった価格で、インターネットと固定電話、そしてデジタル放送などを加えたバンドルサービスの提供が可能となりました。それにより、平成19年3月末におけるCATV通信サービスの加入者登録件数は79千件(うちFTTHサービス4千件)となり、当連結会計年度におきまして3千件増加いたしました。

以上の結果、CATV事業の売上高は10,900百万円(前期比208.0%)、営業利益は1,749百万円(前期比175.2%)となりました。

## ●今後の事業戦略・重点施策

CATVセグメントは、通信事業者による光ファイバー等を利用した多チャンネル放送の配信サービスも提供され始めており、今後さらに競争が激化するものと予想されております。そのため、自社のCATV網を活用したFTTHサービスを開始し、放送事業者としての豊富で魅力あるサービスプランの提供、コミュニティチャンネルなど地域に密着した番組供給、そして、固定電話などを加えた競合他社には真似の出来ない、十分に魅力をもった価格でバンドルサービスの提供が可能となりました。

今後は、FTTHとのセットプランを主力販売サービスと位置付け、早期に当面の目標である10万件を達成させるとともに、当社のネットワーク、データセンターとモバイルを利用したサービスを商品化するなど、デジタル分野におけるワンストップサービスを展開してまいります。また、加入者に信頼されるサービスを行うよう取組むことで、当社グループの中核事業に発展させてまいります。

# 【 コミュニケーションサービス 】

---

---

## ●事業環境

通信サービス業界におきましては、国内のブロードバンド市場は拡大基調にあり、平成19年3月総務省発表「ブロードバンド等の契約数の推移」によりますと、国内ブロードバンド契約数は平成18年12月末時点で2,576万件となり、平成18年3月末から245万件の増加（そのうちFTTH248万件の増加、DSL28万件の減少）となっております。FTTHサービスの普及は今後もさらに加速するものと予想されております。

## ●当期の事業概況

ISP BB事業は、FTTHキャリア事業者との連携を強化し、FTTHサービスプランの拡充に取組むとともに、事業の立上げより培ってきた大手家電量販店及びPCショップ等を中心とした取次店各社、及びFTTHキャリアと一体となり、積極的に顧客獲得に取り組んでまいりました。また、既存ADSL会員につきましては、FTTH会員への移行施策をとり、会員確保に努めてまいりました。それにより、平成19年3月末におけるブロードバンド加入者登録件数は222千件（うちADSLインターネット接続サービス171千件、FTTHサービス51千件）となり、当連結会計年度におきまして13千件増加いたしました。

キャリアサービス事業は、ADSLホールセールサービスについては、平成19年3月末卸売件数171千件、当連結会計年度におきまして11千件の減少となりましたが、原価の低減を図り、収益の確保に努める一方、FTTHによる接続顧客が増加したことで、ISPサーバ運用サービスの受託件数及び上位トラフィック量も増加いたしました。企業向けデータ伝送サービスについても、東京から大阪間の長距離専用線サービスを中心に契約件数を増加させることが出来ました。そのため、キャリアサービス事業全体では順調に推移いたしました。

以上の結果、コミュニケーションサービス事業の売上高は12,425百万円（前期比138.8%）、営業利益は1,895百万円（前期比161.6%）となりました。

## ●今後の事業戦略・重点施策

ISP BB事業は、ISP会員の新規獲得と中止防止が重要な課題であると認識する一方で、同業他社との競争が激化し、事業環境は今後ますます厳しくなるものと予想しております。そのため、協力各社との連携をより強固なものとし、サービスプランの拡充及び積極的な加入者獲得に取り組んでまいります。また、既存加入者に対しましては、より楽しく、より安心してご利用いただけるよう会員向け特典、当社コミュニティポータルサイトでの顧客ニーズに対応したコンテンツサービスの提供、セキュリティ対策の充実、カスタマーサポートの更なる向上などに積極的に取組み、中止防止に繋げてまいります。

キャリアサービス事業におきましては、ブロードバンドの市場環境の影響により、DSL加入者数は徐々に減少しており、キャリア事業者として新たな事業領域の拡大を図ることが重要な課題と認識しております。そのため、国道20号線及び19号線沿いの情報ボックスを利用した光ファイバー幹線（当社においては「中央ルート」という）を平成19年3月に完成させ、当社ネットワークの完全冗長化（ループ化）が実現しました。販路が拡大し、より信頼性が向上したデータ伝送サービスについて、営業・企画力の強化とともに、当社技術・開発力とデータセンターを活用した企業向けワンストップサービスを提供してまいります。

また、両事業とも今後の技術革新につきましては、当社の技術力、開発力、ネットワーク、データセンターなどの情報通信基盤を駆使して、取り組んでまいります。

# 【 システムイノベーションサービス 】

---

---

## ●事業環境

情報サービス業界におきましては、低価格志向、技術や品質水準の高度化など要求は厳しいものの、各業界における新規サービスの開発、事業再編や企業統合などによるソフトウェア開発の需要の高まりにより、市場環境は良好であります。一方、国内のITアウトソーシング市場は、平成19年3月に発表されたIDC Japanの調査レポートによりますと、平成18年から5年間の年平均成長率は5.5%となり、平成23年には市場規模が2兆4千億円を上回るとの予測結果で、今後も高い成長が期待される市場となっております。

## ●当期の事業概況

ソフトウェア開発事業は、引続き企業のICT関連投資増加を背景として、なかでも大型案件である大手テレコム系システム開発等に対応すべく、当社技術者の増強に努め、受注拡大につなげることが出来ました。

情報処理・運用事業は、自社東名阪ネットワークインフラの拡張に伴い、クライアント企業が増加したことで、順調に当社データセンターの稼働率増加につなげることが出来ました。

システム商品・製品販売事業は、自社東名阪ネットワークインフラ、データセンター、自社パッケージソフトを総合的に活用した営業を展開し、大型案件を受注することが出来ました。

また、各事業ともプロジェクト管理の強化によりコスト管理の徹底を行ってまいりました。

以上の結果、システムイノベーションサービス事業の売上高は10,557百万円(前期比114.6%)、営業利益は1,691百万円(前期比132.5%)となりました。

## ●今後の事業戦略・重点施策

システムイノベーションサービスセグメントは、今後も景気の拡大基調に呼应し、開発案件の増加が予想されますが、ニーズの多様化・複雑化により、より高い技術力が求められております。当社といたしましては、これらの需要に応えるため、新たな技術を含む継続的な技術力の強化が重要な課題と認識しております。そのため、より高度な専門技術を習得した人材育成に努めるとともに、積極的な採用活動への取り組み、人材確保に努めてまいります。

また、システム開発事業は市場環境の影響を受けやすく、クライアントへの依存度の高い状況となっております。当社は、自社で技術力、開発力、ネットワーク、データセンターなどの情報通信基盤から営業力・企画力を持っております。さらには、自社開発したミドルウェアもあります。それにより今後は、市場性の高い国内首都圏へ積極的に営業展開し、システムソリューション事業、アウトソーシング事業などストックビジネスの推進強化、拡大に取り組んでまいります。

# 1.－① 経営成績

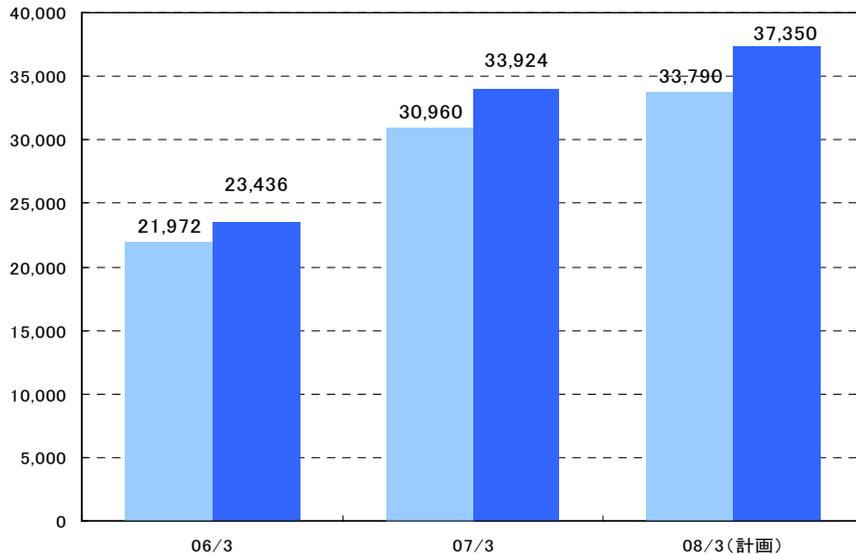
## 【 当期の概況】

各事業部門とも積極的に事業推進に取り組んだことで、当社上場以来過去最高の業績を収めることが出来ました。

当連結会計年度の業績は売上高33,924百万円(前期比144.8%)、営業利益4,415百万円(前期比162.9%)、経常利益4,196百万円(前期比163.5%)、当期純利益4,112百万円(前期比158.5%)となりました。

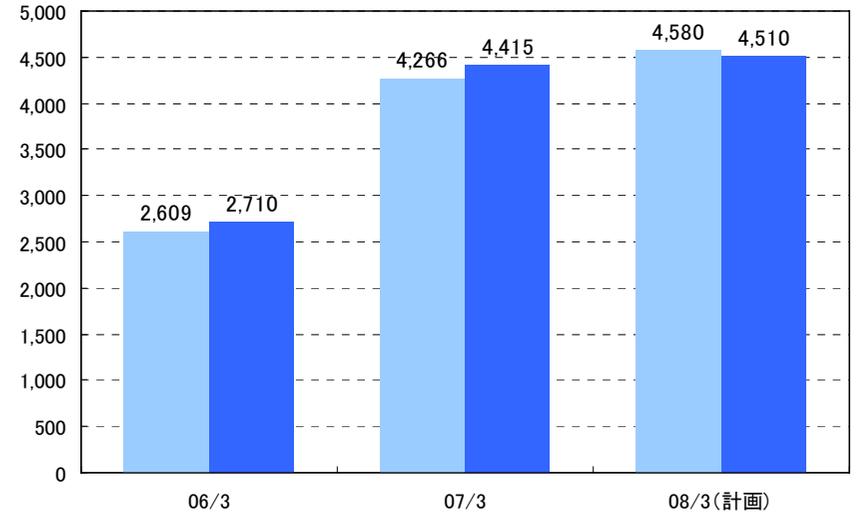
## 売上高

単体 (単位:百万円)  
連結



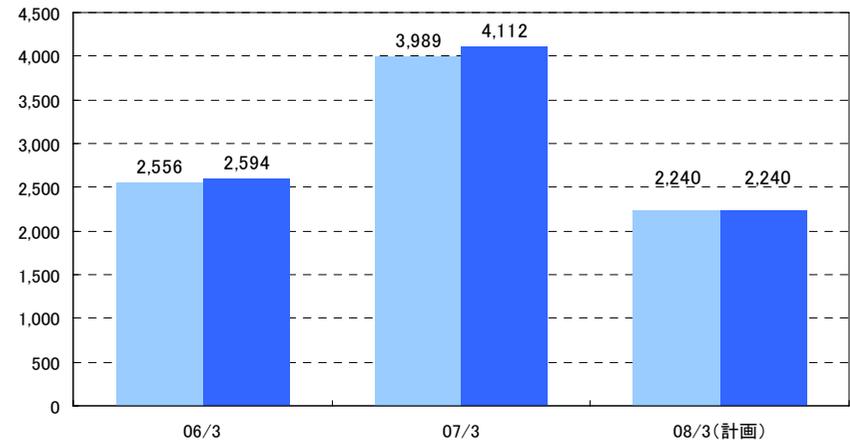
## 営業利益

単体 (単位:百万円)  
連結



## 当期純利益

単体 (単位:百万円)  
連結



# 1. - ② 経営成績

連結	(単位:百万円)				
	06/3	07/3		08/3(計画)	
		中間	通期	中間	通期
売上高 (前年同期比)	23,436 -	15,859 -	33,924 144.8%	17,340 109.3%	37,350 110.1%
営業利益 (売上高営業利益率)	2,710 11.6%	1,802 11.4%	4,415 13.0%	1,670 9.6%	4,510 12.1%
経常利益 (売上高経常利益率)	2,567 11.0%	1,683 10.6%	4,196 12.4%	1,540 8.9%	4,210 11.3%
当期純利益 (売上高当期純利益率)	2,594 11.1%	1,675 10.6%	4,112 12.1%	600 3.5%	2,240 6.0%
EBITDA	-	3,640	8,209	3,710	8,750

単体	(単位:百万円)						
	04/3	05/3	06/3	07/3		08/3(計画)	
				中間	通期	中間	通期
売上高	15,386 110.3%	13,675 88.9%	21,972 160.7%	14,386 212.1%	30,960 140.9%	15,620 108.6%	33,790 109.1%
営業利益	1,759 11.4%	1,713 12.5%	2,609 11.9%	1,711 11.9%	4,266 13.8%	1,700 10.9%	4,580 13.6%
経常利益	1,705 11.1%	1,681 12.3%	2,483 11.3%	1,599 11.1%	4,068 13.1%	1,590 10.2%	4,320 12.8%
当期純利益	1,067 6.9%	1,166 8.5%	2,556 11.6%	1,585 11.0%	3,989 12.9%	670 4.3%	2,240 6.6%
EBITDA				-	3,200	7,280	3,290 7,810

\* 2005年10月にトーカイ・ブロードバンド・コミュニケーションズと合併

# 2. セグメント情報

## 事業別売上高

06/3  
通期

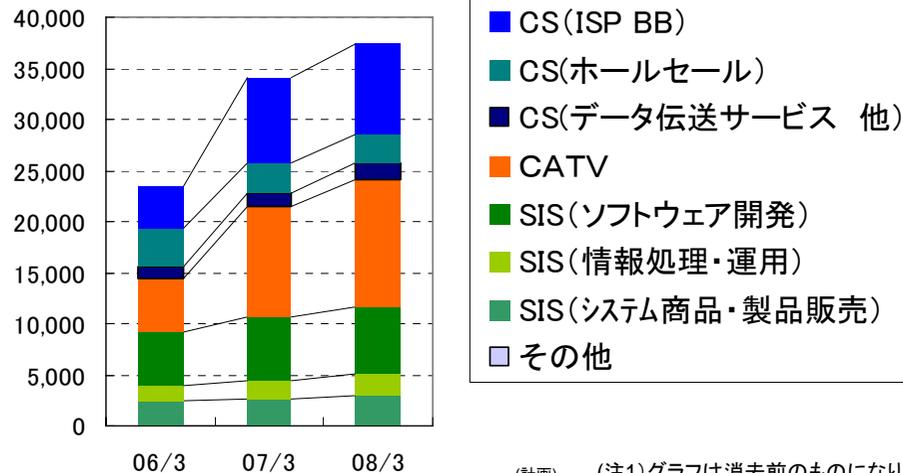
07/3  
中間  
通期

08/3(計画)  
中間  
通期

(単位:百万円)

	06/3 通期		07/3 中間 通期		08/3(計画) 中間 通期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
コミュニケーションサービス	8,977	38.3%	6,205	39.1%	12,529	36.9%
ISP BB	4,120	17.6%	4,169	26.3%	8,378	24.7%
ホールセール	3,727	15.9%	1,376	8.7%	2,802	8.3%
データ伝送サービス 他	1,129	4.8%	660	4.2%	1,345	4.0%
CATV	5,240	22.4%	5,347	33.7%	10,903	32.1%
システムインベーションサービス	9,217	39.3%	4,338	27.4%	10,569	31.2%
ソフトウェア開発	5,242	22.4%	2,636	16.6%	6,158	18.2%
情報処理・運用	1,597	6.8%	843	5.3%	1,765	5.2%
システム商品・製品販売	2,377	10.1%	858	5.4%	2,646	7.8%
その他	31	0.1%	20	0.1%	41	0.1%
全社及び消去	△ 29	-0.1%	△ 52	-0.2%	△ 118	-0.3%
合計	23,436	100.0%	15,859	100.0%	33,924	100.0%

売上高の構成比



(計画) (注1) グラフは消去前のものになります。

# 3. 設備投資及びCF状況

## 設備投資及び減価償却費

(単位:百万円)

	04/3	05/3	06/3		07/3				08/3(計画)				
			中間(個別)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)
設備投資額	2,181	1,349	825	2,274	2,816	1,154	1,303	4,125	5,265	2,130	3,060	10,420	12,620
減価償却費	1,248	1,191	675	2,126	2,470	1,490	1,840	3,011	3,791	1,590	2,040	3,240	4,180
リース料	1,363	1,149	569	1,421	1,557	800	937	1,564	1,847	870	1,020	1,740	2,080
研究開発費	65	75	61	121	121	64	64	121	121	50	50	110	110

## キャッシュ・フローのトレンド

(単位:百万円)

	04/3	05/3	06/3		07/3				08/3(計画)				
			中間(個別)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)
営業活動によるCF①	2,015	2,383	937	-	3,914	-	4,561	-	8,374	-	3,070	-	8,480
投資活動によるCF②	△ 2,231	81	△ 848	-	△ 3,006	-	△ 1,483	-	△ 4,712	-	△ 3,490	-	△ 10,810
財務活動によるCF	351	△ 2,423	△ 640	-	△ 2,312	-	△ 2,544	-	△ 3,010	-	△ 420	-	1,590
換算差額	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
現金及び現金同等物の増加額	135	40	551	-	△ 1,403	-	533	-	651	-	△ 840	-	△ 740
FCF	△ 216	2,464	89	-	908	-	3,077	-	3,661	-	△ 420	-	△ 2,330

# 4. - ① 財務指標

## 連結

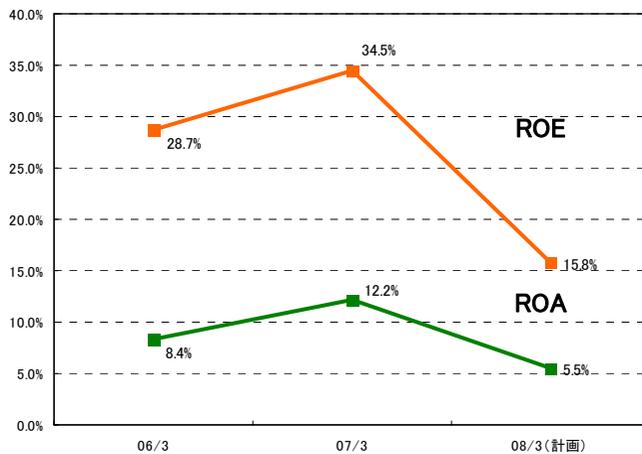
	06/3	07/3		08/3	
		中間	通期	中間	通期
株主資本	10,325	11,581	13,533	13,640	14,770
株主資本当期純利益率(ROE)	28.7%	15.3%	34.5%	4.4%	15.8%
総資本	30,949	30,360	33,729	33,050	40,400
総資本当期純利益率(ROA)	8.4%	5.5%	12.2%	1.8%	5.5%
株主資本比率	33.4%	38.2%	40.1%	41.3%	36.6%
1株当たりの当期純利益	94.66	41.85	102.74	14.98	55.92
1株当たりの配当金	-	-	-	-	-
配当性向	-	-	-	-	-

## 単体

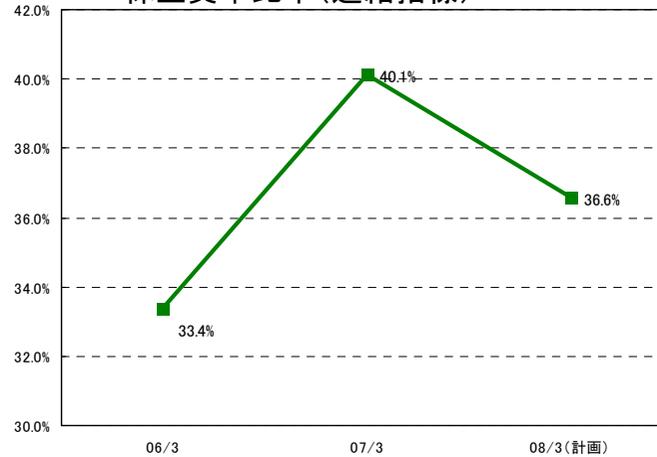
(単位:百万円)

	04/3	05/3	06/3	07/3		08/3	
				中間	通期	中間	通期
株主資本	6,766	7,764	10,645	11,818	13,729	13,900	14,960
株主資本当期純利益率(ROE)	16.9%	16.1%	27.8%	14.1%	32.7%	4.8%	15.6%
総資本	14,935	13,332	27,912	27,529	30,557	29,640	36,200
総資本当期純利益率(ROA)	7.1%	8.7%	9.2%	5.8%	13.1%	2.3%	6.2%
株主資本比率	45.3%	58.2%	38.1%	42.9%	44.9%	46.9%	41.3%
1株当たりの当期純利益	72.90	79.23	93.28	39.62	99.64	16.72	55.92
1株当たりの配当金	12.00	15.00	17.50	12.50	25.00	12.50	25.00
配当性向	16.5%	18.9%	18.8%	31.5%	25.1%	74.8%	44.7%

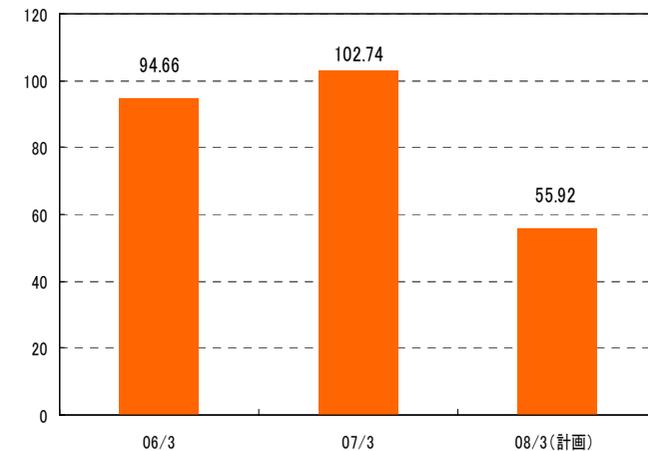
ROE・ROE (連結指標)



株主資本比率 (連結指標)



1株当り当期純利益 (連結指標)



# 4.－② 財務指標

	04/3	05/3	06/3			07/3				08/3(計画)			
			中間(個別)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)
株主資本比率(%)	45.3	58.2	63.2	38.1	33.4	42.9	38.2	44.9	40.1	46.9	41.5	41.3	36.8
時価ベース自己資本比率(%)	86.0	92.4	140.4	-	222.4	-	151.8	-	133.0	-	-	-	-
債務償還年数(年)	2.9	1.5	1.7	-	4.1	-	1.4	-	1.5	-	4.0	-	1.7
インタレスト・ガレッジ・レシオ(倍)	38.7	78.1	74.9	-	25.3	-	41.9	-	39.6	-	25.6	-	29.2

## その他財務指標

	04/3	05/3	06/3			07/3				08/3(計画)			
			中間(個別)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)	中間(個別)	中間(連結)	通期(個別)	通期(連結)
負債比率	120.7%	71.7%	58.3%	162.2%	199.2%	132.9%	160.5%	122.5%	148.6%	113.2%	140.9%	142.0%	172.1%
流動比率	55.3%	76.4%	75.3%	50.9%	53.1%	52.9%	54.9%	55.9%	57.2%	40.9%	43.8%	37.8%	41.0%
固定比率	158.2%	119.0%	115.5%	200.4%	227.8%	177.6%	197.8%	165.0%	185.7%	172.6%	193.9%	196.6%	219.8%

(ご参考)

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産  
 時価ベース自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産  
 債務償還年数 : 有利子負債 / 営業CF  
 インタレスト・ガレッジ・レシオ : 営業CF / 利払い

# 5.－① 貸借対照表 連結

(単位:百万円)

	06/3	07/3		08/3(計画)	
	通期(連結)	中間(連結)	通期(連結)	中間(連結)	通期(連結)
資産合計	30,949	30,360	33,729	33,050	40,400
流動資産	7,423	7,303	8,593	6,440	7,750
現金及び預金	1,588	2,121	2,240	1,390	1,490
売掛金	3,226	2,475	3,724	2,660	4,010
棚卸資産	473	780	669	620	620
繰延税金資産	979	1,032	1,122	470	280
その他	1,155	893	835	1,300	1,350
固定資産	23,522	23,055	25,130	26,600	32,640
有形固定資産	21,429	20,915	22,646	23,710	29,930
無形固定資産	1,336	1,388	1,448	1,000	1,000
投資等	756	750	1,034	1,890	1,710
繰延資産	2	1	5	4	3
負債合計	20,566	18,704	20,118	19,330	25,550
流動負債	13,977	13,299	15,024	14,690	18,910
短期借入金	10,307	9,248	9,737	10,210	10,660
買掛金	812	885	1,074	1,080	1,280
その他	2,856	3,164	4,213	3,400	6,970
固定負債	6,589	5,405	20,118	4,640	6,640
長期借入金	5,645	4,552	4,083	3,660	5,740
その他	944	852	1,009	980	900
少数株主持分	56	-	-	-	-
純資産合計	10,325	11,655	13,610	13,720	14,850

# 5.－② 貸借対照表 単体

(単位:百万円)

	04/3	05/3	06/3	07/3		08/3(計画)	
				中間(個別)	通期(個別)	中間(個別)	通期(個別)
資産合計	14,935	13,332	27,912	27,529	30,557	29,640	36,200
流動資産	4,221	4,093	6,577	6,539	7,902	5,650	6,790
現金及び預金	1,463	1,504	1,260	1,737	1,868	1,110	1,130
売掛金	1,960	1,921	2,845	2,235	3,481	2,380	3,700
棚卸資産	315	82	389	691	533	530	530
繰延税金資産	180	143	950	1,013	1,091	460	240
その他	302	442	1,131	861	928	1,170	1,190
固定資産	10,706	9,238	21,333	20,988	22,653	23,990	29,410
有形固定資産	9,930	8,461	17,301	16,889	18,153	18,870	24,360
無形固定資産	245	248	430	510	586	780	800
投資等	530	529	3,601	3,588	3,914	4,340	4,250
繰延資産	7	-	1	1	-	-	-
負債合計	8,169	5,568	17,266	15,711	16,825	15,740	21,240
流動負債	7,635	5,359	12,918	12,366	14,137	13,810	17,950
短期借入金	5,359	3,479	9,614	8,733	9,223	9,720	10,090
買掛金	229	162	722	798	962	930	1,120
その他	2,044	1,717	2,579	2,833	3,951	3,160	6,740
固定負債	534	208	4,348	3,344	2,687	1,930	3,290
長期借入金	484	105	3,997	3,029	2,183	1,460	2,850
その他	50	103	351	315	504	470	440
純資産合計	6,766	7,764	10,645	11,818	13,731	13,900	14,960

# 6.－① 損益計算書 連結

(単位:百万円)

	06/3		07/3				08/3(計画)			
	通期(連結)		中間(連結)		通期(連結)		中間(連結)		通期(連結)	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	23,436	100.0%	15,859	100.0%	33,924	100.0%	17,340	100.0%	37,350	100.0%
売上原価	15,540	66.3%	9,640	60.8%	20,581	60.7%	10,830	62.5%	23,130	61.9%
売上総利益	7,895	33.7%	6,218	39.2%	13,343	39.3%	6,500	37.5%	14,210	38.0%
販売費及び一般管理費	5,185	22.1%	4,415	27.8%	8,928	26.3%	4,830	27.9%	9,690	25.9%
営業利益	2,710	11.6%	1,802	11.4%	4,415	13.0%	1,670	9.6%	4,510	12.1%
営業外収益	29	0.1%	18	0.1%	38	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
受取利息及び配当金	11	0.0%	1	0.0%	9	0.0%	－	－	－	－
その他	18	0.1%	17	0.1%	29	0.1%	－	－	－	－
営業外費用	172	0.7%	137	0.9%	257	0.7%	130	0.7%	300	0.8%
支払利息	156	0.7%	119	0.8%	222	0.6%	－	－	－	－
その他	16	0.1%	17	0.1%	35	0.1%	－	－	－	－
経常利益	2,567	11.0%	1,683	10.6%	4,196	12.4%	1,540	8.9%	4,210	11.3%
特別利益	45	0.2%	40	0.3%	132	0.4%	30	0.2%	220	0.6%
特別損失	390	1.7%	84	0.5%	546	1.6%	310	1.8%	400	1.1%
税引前当期純利益	2,221	9.5%	1,639	10.3%	3,783	11.2%	1,250	7.2%	4,030	10.8%
法人税、住民税及び事業税	31	0.1%	28	0.2%	53	0.2%	30	0.2%	850	2.3%
法人税等調整額	△ 411	－	△ 74	－	△ 401	－	610	－	920	－
少数株主損益	7	0.0%	10	0.1%	18	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
当期純利益	2,594	11.1%	1,675	10.6%	4,112	12.1%	600	3.5%	2,240	6.0%

(注)表中06/3数値につきましては、ビック東海通期数値と前TOKAI COM下期数値の合算となります。

# 6.一② 損益計算書 単体

(単位:百万円)

	04/3		05/3		06/3		07/3				08/3(計画)			
	構成比		構成比		構成比		中間(個別)		通期(個別)		中間(個別)		通期(個別)	
売上高	15,386	100.0%	13,675	100.0%	21,972	100.0%	14,386	100.0%	30,960	100.0%	15,620	100.0%	33,790	100.0%
売上原価	12,109	78.7%	10,626	77.7%	14,578	66.4%	8,673	60.3%	18,622	60.1%	9,650	61.8%	20,660	61.1%
売上総利益	3,277	21.3%	3,048	22.3%	7,393	33.6%	5,713	39.7%	12,338	39.9%	5,960	38.2%	13,120	38.8%
販売費及び一般管理費	1,518	9.9%	1,334	9.8%	4,784	21.8%	4,001	27.8%	8,072	26.1%	4,260	27.3%	8,540	25.3%
営業利益	1,759	11.4%	1,713	12.5%	2,609	11.9%	1,711	11.9%	4,266	13.8%	1,700	10.9%	4,580	13.6%
営業外収益	6	0.0%	7	0.1%	29	0.1%	12	0.1%	29	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
受取利息及び配当金	4	0.0%	5	0.0%	14	0.1%	0	0.0%	9	0.0%	-	-	-	-
その他	1	0.0%	2	0.0%	14	0.1%	12	0.1%	19	0.1%	-	-	-	-
営業外費用	59	0.4%	39	0.3%	154	0.7%	124	0.9%	227	0.8%	110	0.7%	260	0.8%
支払利息	51	0.3%	32	0.2%	144	0.7%	109	0.8%	201	0.7%	100	0.6%	-	-
その他	8	0.1%	7	0.1%	10	0.0%	15	0.1%	25	0.1%	0	0.0%	-	-
経常利益	1,705	11.1%	1,681	12.3%	2,483	11.3%	1,599	11.1%	4,068	13.1%	1,590	10.2%	4,320	12.8%
特別利益	86	0.6%	365	2.7%	31	0.2%	27	0.2%	115	0.4%	30	0.2%	40	0.1%
特別損失	110	0.7%	144	1.1%	346	1.6%	79	0.5%	499	1.6%	300	1.9%	350	1.0%
税引前当期純利益	1,681	10.9%	1,902	13.9%	2,168	9.9%	1,547	10.8%	3,684	11.9%	1,310	8.4%	4,010	11.9%
法人税、住民税及び事業税	692	4.5%	723	5.3%	20	0.1%	14	0.1%	33	0.1%	10	0.1%	820	2.4%
法人税等調整額	△ 78	-	12	0.1%	△ 408	-	△ 52	-	△ 338	-	620	-	940	-
少数株主損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	1,067	6.9%	1,166	8.5%	2,556	11.6%	1,585	11.0%	3,989	12.9%	670	4.3%	2,240	6.6%

(注)表中06/3数値につきましては、ビック東海通期数値と前TOKAI COM下期数値の合算となります。

# (株)ビック東海グループの経営方針

---

---

当社グループは、情報技術と通信ネットワーク、データセンターなどの情報通信基盤をバックボーンとして、システムインテグレータの技術力・開発力とISP、CATV事業の営業力を結集し、ワンストップで通信・放送・情報サービスの高品質な『トータル・コミュニケーション』を提供することで、当社グループの持続的な発展を目指すとともに、お客様、株主様や地域社会など全てのステークホルダーの満足と信頼をいただけるよう、コンプライアンスの徹底とコーポレート・ガバナンスの強化に取組み、経営の健全性と透明性の確保に努めてまいります。

## ～当資料取り扱い上の注意点～

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。